



まだまだ寒い日が続き、様々な感染症が流行しています。「新型コロナウイルス」「インフルエンザ」以外にも注意が必要です。今回は「マイコプラズマ感染症」について今一度おさらいしたいとおもいます。覚えておいていただきたい症状・病態罹患時の対応を紹介します。

「マイコプラズマ」ってなあに？

マイコプラズマという細菌に感染することで、気管支炎や肺炎を起こす病気です。冬に流行し、発熱、咳、喉の痛みなど風邪と似た症状が起きます。つまり、この感染症の特有の症状というものは特にありません、。

【感染経路・潜伏期間】

風邪のように、感染者との長時間の接触、飛沫を浴びたりすることで感染します。つまり「家庭」や「保育園・幼稚園」「学校」などの多数の人が同じ空間に長時間過ごす場所で感染が広がります。

しかし、潜伏期間が「2～3週間」と比較的長く、感染経路がはっきりしないことも多いです。

若い人に多い病気で、感染者の8割は15歳以下(小児)といわれています(大人でも感染しますよ)。

診断と治療法は？

迅速検査(ほかにPCR検査・採血)を行って診断します。重症度をみるため胸部X線検査などを行う場合もあります。

抗菌薬、咳止め等の感冒薬の内服で治療します。治療開始後、約1週間程度で軽快します。しかし、病気が治っても数日から長いと数週間咳が残ることもあります。

かからないためには？

「マイコプラズマ」の予防接種はありません、。

他の感染症とおなじく、手洗いやマスクをすることが予防になります。

いつから登園・登校していいの??

治るまでに治療開始から約1週間程度かかり登園・登校について出席停止期間は定められておりません。解熱して症状も治まったら登園・登校できます。ただし、咳や息切れなど症状が悪化したら肺炎などおこしていることもあるため再受診しましょう。

【ここ数ヶ月間に当院病児保育をご利用された方の病気】

「インフルエンザ」「胃腸炎」
「アデノウイルス感染症」
「溶連菌感染症」
「RSウイルス感染症」
「ヒトメタニューモウイルス感染症」などなど、

やまさきこどもクリニック
病児保育室 Teddy's
TEL: 0956-37-8813

